

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2014 年 7 月

2013 年度電気材料安全・規格委員会活動報告

電気製品の安全性と信頼性の確保におけるプラスチックの果たす役割の重要性が増す環境下、危険性及びハザードを適切に評価するために IEC 規格、UL 規格、電気用品安全法に係わる国内外の規格の制定・改訂におけるプラスチック材料の設計・評価・用途などと密接に関係することを目標に、当委員会の活動を実施してきた。

尚、2013 年 7 月に電気用品の技術上の基準を定める省令が全面改正されており、要求性能のみを明示する省令の性能規定化が行われ、従来の「省令」と「技術基準の解釈」に記載されていた仕様要求は新たな「技術基準の解釈」での説明に見直されている。

1. CMJ 関係

電安法技術基準の改正動向の把握に努め、またそれに伴う CMJ 材料登録の項目追加の具体的な取り組みに対し、プラスチック業界としての意向反映を実施。

電源プラグ向け絶縁材料を対象として、トラッキング特性 (CTI) の CMJ 登録・運用が開始された。

2. JEITA 関係

電安法技術基準改正、海外の規格・規制等情報、および IEC、UL 等材料規格などの情報を、JEITA と共同で幅広く取り上げ、情報交換と意見交換を実施した。

3. IEC 関係

3.1 IEC/TC89 (耐火性試験)

4 月 (ベルリン) と 9 月 (イスタンブール) に IEC/TC89 国際会議が開催された。500W 垂直燃焼試験 (UL94 5V 対応規格)、ニードルフレーム、グローワイヤ、ホットワイヤ、ボールプレッシャ関連について審議が進められた。

IEC 60695-2-10 (グローワイヤ試験—装置及び共通試験方法) が 4 月に改訂第 2 版が発行された。IEC 60695-11-10 (50W 水平及び垂直燃焼試験 /UL94 対応規格) が、5 月改訂第 2 版が発行された。

3.2 IEC/TC108 (オーディオ・ビデオ、情報機器、通信技術分野における電子機器の安全性)

IEC60950-1ed2.2 (安全性—一般要求事項) は 2013 年に発行済。IEC60065 及び IEC60950-1 と置き換わる IEC62368-1 ed2 (FDIS2012 年 11 月発行) は更なる改訂が必要なため第 3 版発行に向けて審議中。IEC62441「ろうそくもらい火規格」は CVD ドラフトが審議中。

3.3 IEC/TC112 (電気絶縁材料及びシステムの評価と認定)

IEC/TS 60216-7 (熱的耐久性パート 7) についてコンビナから WD が提案され、会議後 CD が発行された。数時間の熱分析を用いて TI 及び RTE を推定するための活性化エネルギーを求める方法としては TGA 法、DSC 法等があり、どの手法が妥当か、また、適用可能な試験品種なども含めた検討が必要であるため、ラウンドロビンテストを行うことが決定された。

WG4 にて IEC62631 (Dielectric And Resistive Properties Of Solid Insulating Materials) として従来の複数の規格を統合する動きが始まっている。Part1 の IS は既に発行された。次いで

Part3-1~3 の CD が発行され、日本からのコメントが提出された。

なお、来年度の国際会議は 2014 年 11 月日本（東京）開催の予定。

4. UL 関係

UL 規格改訂状況の把握を継続実施。10 月にデュッセルドルフで STP が開催され、日本からは 4 名のメンバーが参加した。

UL746C 耐候性 (f1) について Continuing Certification に係わる Bulletin が 2013/10/31 付けで各社に送付された。Effective Date (2014/10/28) 以降も登録内容を変更しない限り既存認証は維持される。変更や新規申請した場合は新要求事項が適用される。なお、各社からの質問があれば UL で受け付けてくれる。本 Bulletin の内容に関し、電気材料安全・規格委員会は積極的な参画を行った。

UL Japan と意見交換会を開催し、フォローアップ関連事項、UL の Web サービス、規格改定情報について意見交換を行なった。本意見交換会は今後も継続して開催していきたいと考えている。

以上